

1 分析指標の算式及び意味（単独決算）

	経営状況分析の指標	算出式	上限値	下限値
負債抵抗力指標				
X1	純支払利息比率	$(\text{支払利息} - \text{受取利息配当金}) / \text{売上高} \times 100$	5.1	-0.3
X2	負債回転期間	$(\text{流動負債} + \text{固定負債}) / (\text{売上高} \div 12)$	18.0	0.9
収益性・効率性指標				
X3	総資本売上総利益率	$\text{売上総利益} / \text{総資本} (2 \text{期平均}) \times 100$	63.6	6.5
X4	売上高経常利益率	$\text{経常利益} / \text{売上高} \times 100$	5.1	-8.5
財務健全指標				
X5	自己資本対固定資産比率	$\text{自己資本} / \text{固定資産} \times 100$	350.0	-76.5
X6	自己資本比率	$\text{自己資本} / \text{総資本} \times 100$	68.5	-68.6
絶対的力量指標				
X7	営業キャッシュフロー (絶対額)	$\text{営業キャッシュ・フロー} (2 \text{期平均}) / 1 \text{億}$	15.0	-10.0
X8	利益剰余金 (絶対額)	$\text{利益剰余金} / 1 \text{億}$	100.0	-3.0

小数点第4位四捨五入

- ・ 総資本売上総利益率について、2期平均の総資本が3千万円以下の場合は3千万円と読み替える。
- ・ 総資本 = 負債純資産合計
- ・ 営業キャッシュフロー = 経常利益 + 減価償却実施額 ± 貸倒引当金増減額 - 法人税、住民税及び事業税 ± 売掛債権増減額 ± 仕入債務増減額 ± 棚卸資産増減額 ± 受入金増減額

引当金 貸倒引当金の額

売掛債権 受取手形 + 完成工事未収入金

仕入債務 支払手形 + 工事未払金

棚卸資産 未成工事支出金 + 材料貯蔵品

受入金 未成工事受入金

「個人事業者の場合」

- ・ 経常利益 = 事業主利益
- ・ 利益剰余金 = 純資産合計

「連結決算の場合」

- ・ 自己資本 = 純資産合計 - 少数株主持分
- ・ 営業キャッシュフローの額 = 連結キャッシュフロー計算書における「営業活動におけるキャッシュフローの額」

2 経営状況分析の評点の算出方法

$$\begin{aligned} A (\text{経営状況点数}) = & - 0.4650 \times X 1 (\text{純支払利息比率}) \\ & - 0.0508 \times X 2 (\text{負債回転期間}) \\ & + 0.0264 \times X 3 (\text{総資本売上総利益率}) \\ & + 0.0277 \times X 4 (\text{売上高経常利益率}) \\ & + 0.0011 \times X 5 (\text{自己資本対固定資産比率}) \\ & + 0.0089 \times X 6 (\text{自己資本比率}) \\ & + 0.0818 \times X 7 (\text{営業キャッシュフロー}) \\ & + 0.0172 \times X 8 (\text{利益剰余金}) \\ & + 0.1906 \end{aligned}$$

A : 小数点以下第 3 位四捨五入

Y (経営状況の評点)

$$Y = 167.3 \times A (\text{経営状況点数}) + 583$$

Y : 小数点以下第 1 位四捨五入